

「合唱」

～ 仲間とともに最高の合唱を創るには ～

本題材で育成する資質・能力

(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和3年9月21日 12:55～13:45
- 2 学年 第3学年1組 (男子16名 女子15名 合計31名)
- 3 場所 本館3F 音楽室・3年1組教室
- 4 単元について

○ 題材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽(平成29年)の〔第2学年及び第3学年〕(1)「A表現」(1)ア「歌詞表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。」イ(ア)「曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解すること。」を扱う。

今回題材として取り上げた曲は、例年10月に行われる尾道市中学校音楽コンクールでの自由曲として選曲したものである。今年度も開催中止ということになったが、生徒がこれまで学んできた技能を生かして、曲想を味わうことによって、それぞれの曲にふさわしい自己のイメージや感情を広げ、思いや意図をもって創意工夫することと、自分の担当する声部と他の声部の役割を理解し、全体の響きとの関わりを理解して表現の工夫をしながら合わせて歌う能力を高めることをねらいとしている。

○ 生徒観

本学級の生徒は、合唱の授業では、パートリーダーを中心に協力する姿勢や、意欲的に学習に取り組む姿勢がみられる。以下のアンケートは9月上旬に本学級の生徒に実施したアンケートの結果である。

	あてあまる		肯定的	あてはまらない		否定的
	そう思う	やや		あまり	まったく	
①音楽の授業が好き	74.1%	25.9%	100%	0%	0%	0%
②歌うことが好き	51.9%	37%	88.9%	11.1%	0%	11.1%
③合唱することが好き	55.6%	29.6%	85.2%	14.8%	0%	14.8%
④合唱をするときに、歌詞の内容を味わっている	44.5%	33.3%	77.8%	22.2%	0%	22.2%
⑤歌詞(言葉)の発音や発声の仕方を工夫している	33.3%	55.6%	88.9%	11.1%	0%	11.1%
⑥歌うときに音符や休符の長さを意識して歌っている	48.2%	40.7%	88.9%	11.1%	0%	11.1%
⑦歌うときに音楽記号(強弱記号など)を意識している	66.7%	18.5%	85.2%	14.8%	0%	14.8%

この結果から、音楽の学習に対する意欲が高いことが分かる。歌を歌うことや合唱をするに対しても肯定的な評価が多数見られる。しかし、歌詞の内容を考えることに対してはあまり意識をせず歌っている様子が見られる。

これらの実態から、歌詞の意味をしっかりと考えることで、合唱する喜びを分かち合えるよう、ペア

やグループ活動を取り入れたり、電子機器を使用し客観的に自分達の合唱を聴いたりしながら、生徒に音楽表現の変化を感じ取らせたい。また、ホワイトボードやChromebookを有効活用し、友達の考えや感じ方を共有し、歌詞の内容をより深めていきたい。

○ 指導観

指導にあたっては、歌詞から伝わる思いや意図を汲み取り、曲にふさわしい表現の工夫を行う力をつけたい。この力を身につけさせる過程として、情報収集の場面で、曲想を感じ取らせ、歌詞が持っているメッセージを理解させる。整理・分析場面では、実際に歌いながふさわしい表現の工夫を行うため、ボイスレコーダーやiPadを使用し、客観的に自分達の歌声を聴き、模範演奏に近づけられるよう、意見の交流や歌いながら表現の工夫を行わせる。その際、個人思考では、書く活動を取り入れ自分の思いや意図をもたせる。表現の工夫が個人の物だけにならないように、拡大楽譜を用意し、全体で表現の工夫を統一させる。

また、本題材で取り扱う曲は卒業・進路選択を控える生徒たちに、この曲を通じて、自分の未来を、歌で繋げながら、学年合唱をする意味について興味関心を高めていきたい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本題材においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	表現力・コミュニケーション能力			主体性	
レベル1	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	（話す speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		（話す tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		（話す talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることが	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。

			できる。		
レベル4	自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。				

6 単元目標

- 全体の響きや各声部の役割、強弱の変化等を創意工夫して合わせて歌う技能を身につけている。
【知識・技能】
- 曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて理解し、思いや意図をもっている。
【思考・判断・表現】
- 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・全体の響きや各声部の声などを聴きながら、役割を意識して歌うことができる。 ・曲の構成を理解した上で声質や響きを変えて歌うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容と曲想の違いを理解している。 ・曲想を感じ取り、音楽の構造を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望や勇気を与えてくれる歌詞と曲想を結びつけ、表現の工夫をして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。

8 指導計画（全7時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点			評 価	
			知	思	主	評価規準	資質・能力（評価方法）
課題の設定	1	楽曲を聴き、楽曲の雰囲気と歌詞を理解する。 (1時間)			○	・希望や勇気を与えてくれる歌詞と曲想を結びつけ、表現の工夫をして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	【主体性】（ワークシート）
本質的な問い この曲を通してみんなの想いをどうつなげるか。 単元を貫く問い（探究課題の萌芽） 仲間とともに最高の合唱を創るには・・・							
情報収集	2	曲の盛り上がりを意識しながらパート練習を行う。 (3時間) 【本時3／1】			○	・曲想を感じ取り、音楽の構造を理解している。	【主体性】（行動観察・ワークシート）
整理・分析	3	抑揚をつけるような歌い方を工夫する。 (1時間)			○	・歌詞の意味と強弱との関わりをかんがえる。	【主体性】（行動観察・ワークシート）

まとめ・創造・表現	4	歌詞の内容と曲想を結びつけ合唱を行う。 (1時間)	○		・歌詞の内容と曲想の違いを理解している。	【コミュニケーション能力】(行動観察・ワークシート)
実行・振り返り	5	パートの役割と楽曲の構成を理解して歌い方を工夫する。 (1時間)	○		・全体の響きや各声部の声などを聴きながら、役割を意識して歌うことができる。 ・ユニゾンと重なる所、追いかけて歌う所の声質や響きを変えて歌うことができる。	【コミュニケーション能力】(行動観察・ワークシート)

単元を貫く問いの終結

仲間を思いやり、一人一人が曲想を感じ取り、歌詞の内容を理解することで、表現する内容が豊かになり、一体感のある合唱ができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・工夫しようと考えたことをもとにパート練習を通して曲に込められた思いを理解して表現する力を育てる。

(2) 本時の評価規準

- ・歌詞の内容と曲想を理解し、工夫して表現している。【思考・判断・表現】

(3) 準備物

- ・楽譜、ワークシート、ホワイトボード

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 既習事項の確認。[3分]		
既習曲を歌う 模範演奏を聴く	◇聴いてくれている人を感動させるためにはどう歌えばよいだろう。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 予測される生徒の考え ・強弱記号に気を付けて歌う。・表情を柔らかくして歌う。・歌詞の内容を理解する </div>		
2 本時の学習課題を設定する。[3分]		
本時の目標の確認		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習課題 工夫をもとに、曲に込められた思いを理解して、パート練習をしよう。 </div>		
	◇なぜこの曲を選んだか意図をつかませる。中学校時代の友達はかけがえのない存在だということを最大限意識させる。	

導入の工夫

単元を貫く問い

3 本時のねらいを確認する。[3分]		
	◇生徒の想いを聴きながら提示する。	
<p>ねらい</p> <p>曲想を感じ取りパート練習に取り組む。</p>		
4 情報を整理・分析し、課題解決をする。[20分]		
<p>歌詞の意味を考えふさわしい表現について考える。</p> <p>(パート練習)</p> <p>ソプラノ→3-1教室</p> <p>アルト→音楽準備室</p> <p>男子→音楽室</p>	<p>◇各声部の役割と全体の響きとの関わりを理解し工夫して表現させる。</p> <p>◇パート練習しながらふさわしい表現の工夫を確認していく。</p> <p>◆歌詞と曲想が結びついていない場合は強弱記号を確認させる。</p>	<p>[観点]</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>★(評価方法)</p> <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p>
5 課題解決について発表をする。[10分]		
<p>全体交流し、表現の工夫を一つにまとめる</p>	<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価 ・「友。今、君が見上げる空はどんな色に見えていますか？」から「友。僕たちが見上げる空は、どこまでも続き輝いている。同じ空の下 どこかで僕たちはつながっている」で終わる歌詞なので歌詞のストーリー性を意識しながら歌いたい。</p> <p>・一人ではない。常に自分の周りには必ず支えてくれる人がいてからこそこの今がある。中学校時代の親友は大人になってもかわらない。色んな場面で応援してくれている人がいることを感じて歌う。</p> <p>B評価 ・「友」には、仲間を意識した歌詞が書かれている。</p> <p>・自分が思う仲間や大切な人への想いを込めて歌っていく。</p>	
6 学習のまとめをする。[6分]		
<p>全体で合唱をしてみる</p>	<p>◇表情や歌詞の内容について理解を深め、曲想をしっかり感じ取らせる。</p>	
7 本時を振り返り、次時につなげる。[5分]		
<p>振り返りを書く。</p>	<p>生徒の振り返りの例—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味をしっかり理解し、曲のストーリー性を意識して歌う。 ・友だちを思いやることを忘れない。 ・この曲が自分たちの心を繋いでくれていることを感じる。 	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	歌詞の意味を考え、表現記号との関連を整理し、積極的に意見を出したり歌唱表現を工夫したりできる。
B（合格）	歌詞の意味を考え、表現記号との関連を整理し、自分の意見を持ったり歌唱表現をしたりできる。
C（乗り越えさせたい実態）	歌詞の意味を考え、表現記号との関連を整理することができる。

（5）板書計画

<p>単元 合唱</p> <p>学習課題</p> <p>仲間とともに最高の合唱を創るには…</p> <p>ねらい</p> <p>曲想を感じ取りパート練習に取り組もう。</p>	<p>拡大歌詞</p>	<p>生徒の予想解答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友だちへの想いを込める ○空がつながっていていつもの光景を実感して歌う。 ○強弱とつなげるとは難しい。
--	-------------	---